



LSEG RISK
INTELLIGENCE

The Global Sanctions Index (GSI):

制裁の増加率は鈍化



執筆者紹介



Mike Meadon

LSEG リスク・インテリジェンス事業 アジア太平洋
地域担当ディレクター

アジア地域にてリスク・インテリジェンス事業を統括。当社の主力製品であるWorld-Check、Digital Onboarding、LSEG IDV、Enhanced Due Diligence等の市場投入戦略、プロダクト戦略、コンテンツ戦略の策定に携わる。

2022年、細分化が進む制裁環境を捕捉・分析するソリューション Global Sanctions Index (GSI) をリリース。

Global Sanctions Index 製品紹介

GSIはWorld-Checkのデータを活用し、世界全体の制裁対象者数の純増減を追跡しています。

制裁の増加率(明示的に公表されたすべての制裁リストの制裁対象者の重複を排除したうえで算出した、対象者総数の年間増加率)は、2022年4月のGSI公表開始以降、顕著な上昇傾向を示しています。

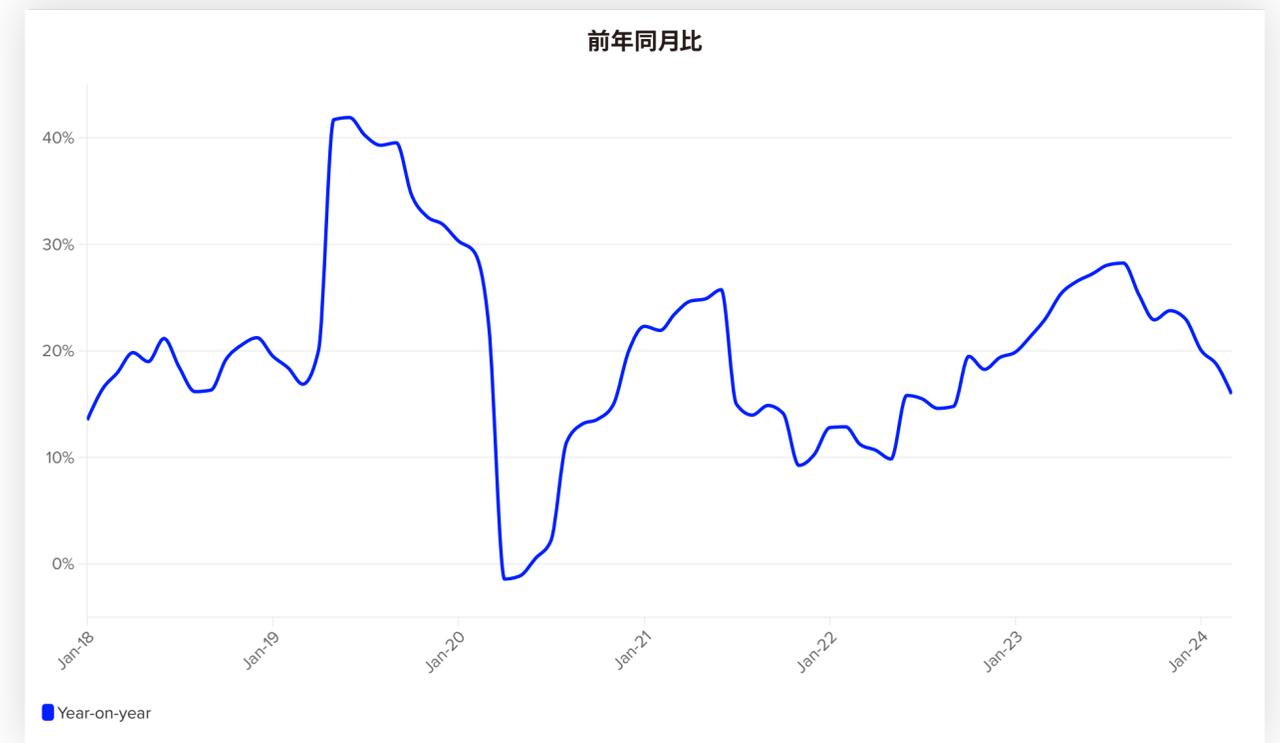
本レポートでは、2024年3月までのデータを基に、現在の制裁状況のスナップショットと、2022年8月に発表したサブインデックスの更新情報をお届けします。当社は主要な制裁プログラムをすべて追跡することにより、制裁対象者の顕在化されていないリスクについての傾向やインサイトを明らかにしています。

エグゼクティブ・サマリー

世界全体の制裁増加率は、ここ数ヵ月は伸びが鈍化しているものの、依然として上昇傾向にあります。現在、世界全体で7万人以上の制裁対象者(個人・法人)が存在しており、2017年1月の基準日の4.7倍となっています。GSIの2024年3月現在の指数値は370で、前年同月比で16%増加しました。増加率は高止まりしており、未だ上昇を続けているものの、ここ数ヵ月は伸びも緩やかになっています。

この鈍化の要因はいくつかありますが、ウクライナ関連の新たな制裁の純増が第1四半期には見られなかったことや、各国(日本、オーストラリア、中国、英国など)の自主制裁プログラムにおける制裁件数の増加がペースダウンしたことなどが挙げられます。この傾向に反して、米財務省外国資産管理局(OFAC)はGSIの調査対象期間全体(2017年～現在)にわたり、制裁件数の伸びを引き上げ続けています。

他方、国連の合意に基づく制裁は、長期的な傾向として、制裁件数全体に占める割合が縮小しています。世界全体の制裁件数に占める国連制裁の割合は、前年が1.80%であったのに対し、今年は1.42%まで減少しています。

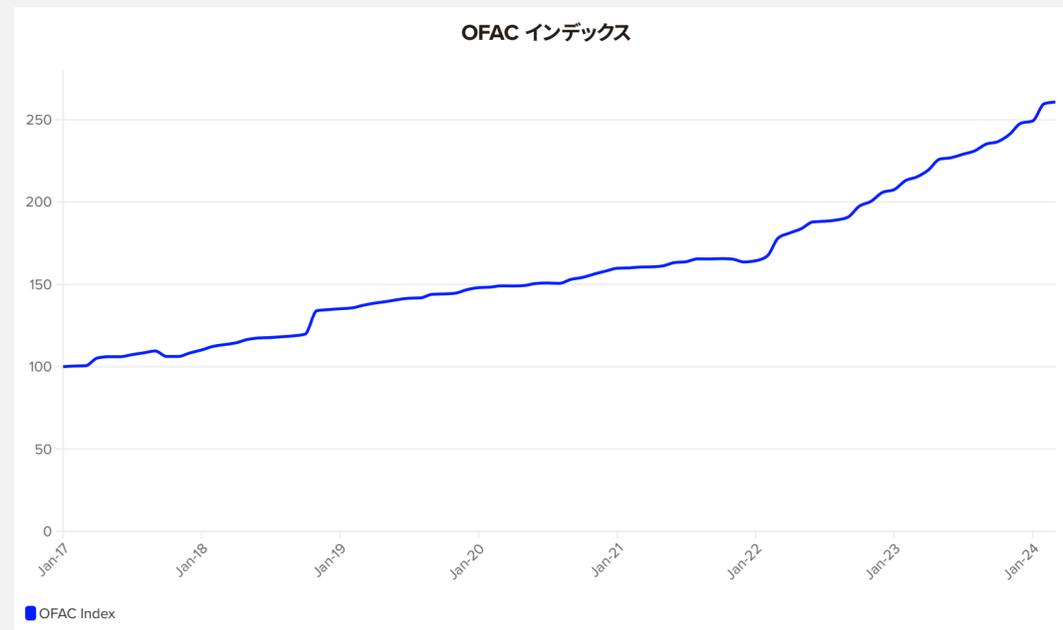


主要ハイライト

OFACの動向 (2017年1月～2024年3月)

昨年は複数の制裁プログラムで制裁件数の伸びが減速したものの、依然OFACが制裁増加率を押し上げ続けています。2024年3月現在におけるOFACサブインデックスの指数値は260.7であり、その増加率は前年同月比で21.1%に加速しました。

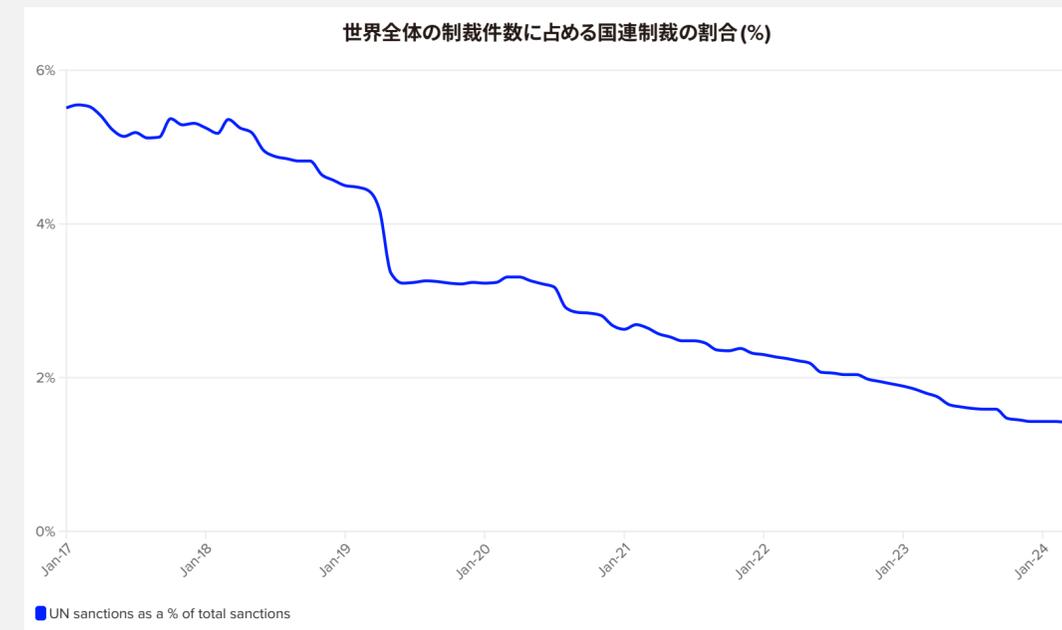
OFACの多様な制裁プログラムで制裁対象に指定されている人物は延べ1万5,000人を超え、全世界の制裁対象者の5分の1に相当します。



減少を続ける国連制裁

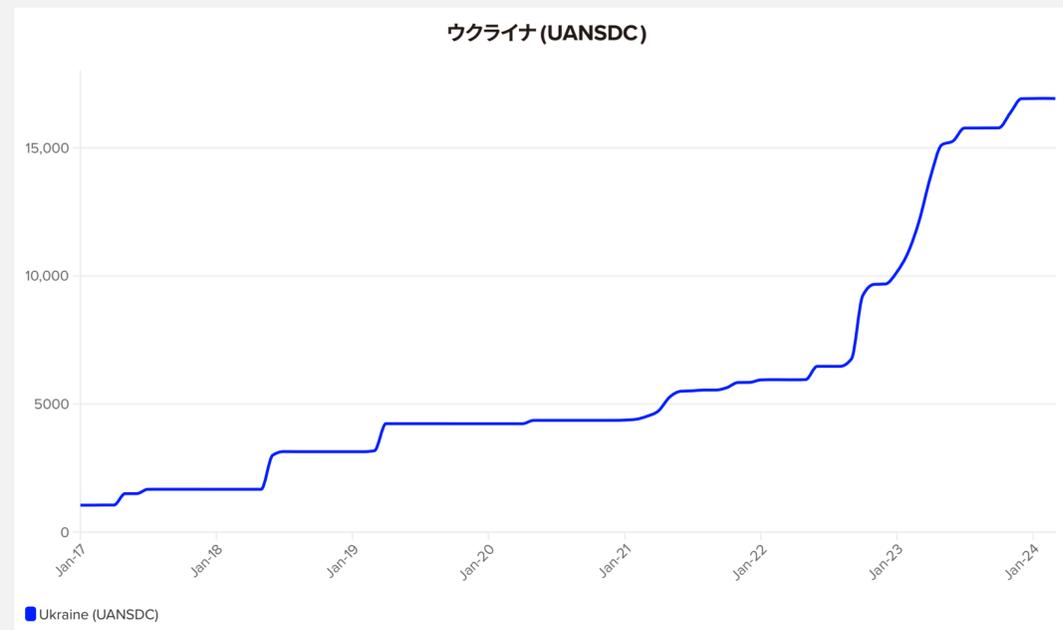
制裁件数全体に占める国連制裁の割合は過去最低を更新し続けており、2024年3月には過去最低となる1.42%を記録しました。

国連制裁件数の増加率は前年比 -6.1%、サブインデックスは95.5となっており、小幅ながら、国連制裁の減少は全体の増加率鈍化に寄与しています(下図は2017年1月以降の全期間の純減を反映)。



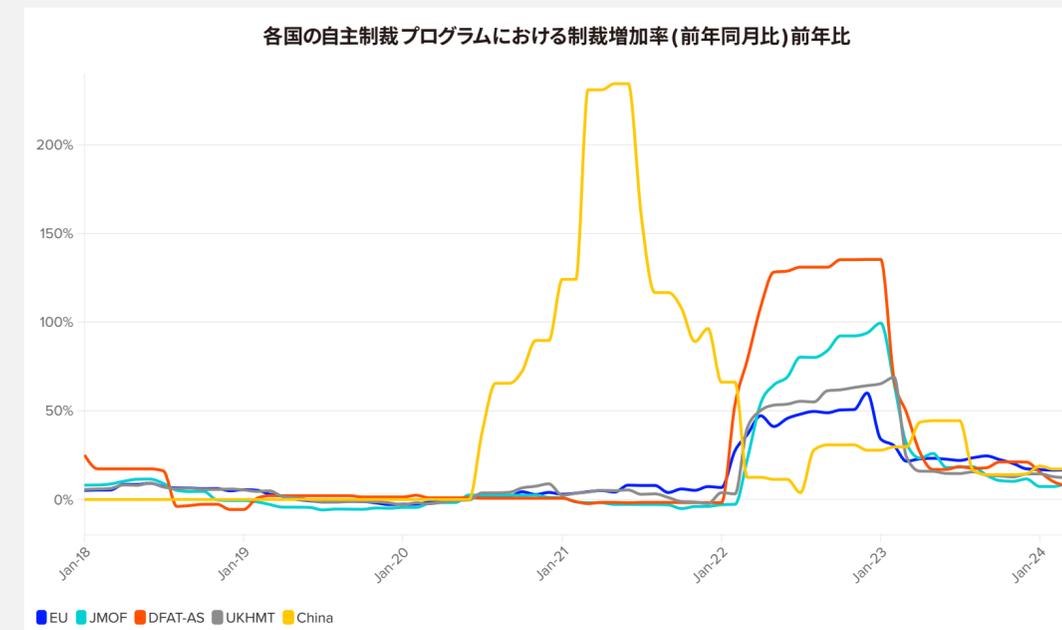
鈍化の要因

ウクライナが2022年2月にロシアによる全面侵攻を受けて以来、制裁件数は急速に増加しました。ウクライナ関連の制裁プログラムは、現在、世界最大規模の制裁プログラムの一つです。



ウクライナ関連の制裁プログラムの規模を考慮すると、2024年第1四半期にその制裁件数の増加率が横ばいとなったことは重要と言えます。世界全体の制裁増加率が鈍化したのは、この要因によるところが大きいです。

一方で同様に、その他多くの国々が実施している制裁プログラムも鈍化を後押ししています。下図に示しているとおり、欧州連合 (EU) や中国で実施されている多様なプログラムのほか、オーストラリア、日本、イギリスの自主制裁プログラムの前年比増加率を見ればこのことは明らかです。



各国の制裁増加率のピークは、中国では早い時期にありましたが、それ以外の国におけるウクライナ関連制裁プログラムのピークは2022年と2023年となっています。各国ともに制裁件数自体は純増を続けていますが、その伸びは弱まっており、全体としては鈍化する傾向にあります。

GSI サブインデックス

GSIのサブインデックスは、主要制裁プログラムを個別に追跡し、インデックス全体を補完する役割を担っています。

以下は2024年3月時点のデータです。インデックスの基準日(=100)は2017年1月に設定されています。今回のレポートでは新たに、フランスとスイスのサブインデックス情報を追加しました。

- OFACの年間制裁増加率は21.2%、指数値は260.7
- EUの制裁増加率は16.7%、指数値は237.6
- 日本の制裁増加率は9.1%、指数値は224.9
- 豪州外務貿易省(DFAT)の監督下にある自主制裁プログラムの制裁増加率は7.7%に鈍化、指数値は338.8
- EUの制裁とは別に自主運用されるようになった英国の制裁件数はこの数ヶ月間、上昇が小幅推移。直近の増加率は12.3%、指数値は221.4
- 中国の自主制裁プログラムの増加率は以前は大幅な増加となっていたが、直近では他国と同水準の17.1%まで低下。指数値は565.5%を記録
- スイスの制裁プログラムは他の欧州諸国と同様の水準で推移しており、年間増加率は15.2%、指数値は236.2
- フランスもスイスと同様の推移で制裁増加率は16.6%、指数値は250.2

そして、国連制裁は2024年3月現在、指数値95.5、年間増加率 -6.1%と鈍化に寄与しています。

効果的なスクリーニングで業務をシンプル化

スクリーニング・プロセスではしばしば誤検出が発生し、修正が必要となります。氏名の不完全、偽名、異表記、翻訳ミスなど、誤検出の要因はさまざまです。また制裁対象者の中には、検出されないように自らの情報を一部改ざんし、制裁リストの登録名とは異なる名前で身元の隠ぺいを図る者もいます。スクリーニングに必要な情報はすべて整理し、エラーを修正し、品質チェック、信頼性の高い情報源からの入手を行う必要があります。

効果的なスクリーニング・ツールは、調査と収集の段階でこれらの問題をクリアしています。名前のチェック、重複排除、分類、タグ付けは簡易フィルタリングの実行に不可欠な作業であり、情報も検証可能で信頼できる情報源に紐づける必要があります。

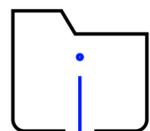
メソドロジーに関する注記

GSIの基準日(=100)は2017年1月に設定されています。LSEG World-Checkで追跡している明示的な制裁プログラムのデータをすべて網羅し、制裁に関するキーワードにもれなく対応しています。ただし、OFACの50%ルールによる制裁などの黙示的な制裁はGSIの分析対象外です。

World-Checkの厳格な品質チェックにより、重複を排除した制裁データを使用しています。OFACとEUの両方が一人の人物をリストアップしている場合、当社の増加率データでは1回とカウントします。

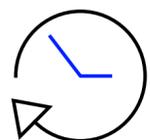
ソリューションの特長

制裁コンプライアンスに関するリフィニティブのソリューションの特長をご紹介します。



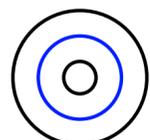
信頼性の高いインテリジェンス

調査手法と収録基準は非常に厳格なガイドラインに従い、セキュアな品質管理を適用しています。



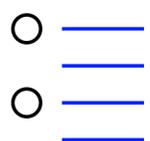
最新の情報

五大陸すべてに調査センターを置き、制裁リスト、規制および法執行のリストに加え、何千もの信頼できるメディア・ソースを24時間体制でモニタリングして、正確な最新情報をお届けします。



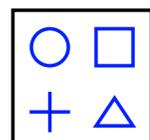
対象を絞ったスクリーニング

データは何百という特定キーワードによるフィルタリングとドリルダウンが可能で、対象を絞り込んだスクリーニングにより、誤検出を減らします。



デューデリジェンス・レポート

間接的な制裁へのエクスポージャーを完全に把握するためには、企業の詳細な所有権構造や特定の個人の資金源を明らかにするための一歩踏み込んだ努力が必要です。



マネージド・サービス

マネージドサービス・チームによる継続的なモニタリングは、最新のプロフィールの把握やバックログの回避に役立ちます。



ウェブサイト: lseg.com/ja |  @LSEGplc  LSEG

© 2024 LSEG. LSEGが事前に書面で許可した場合を除き、LSEGが提供するコンテンツを再発行または再配信 (フレーミングその他の方法によるものを含む) することは禁止されています。LSEGは、本書またはその他のコンテンツの誤り、不正確さ、遅延、またはそれらに依拠してお客様が行った行動について責任を負うものではありません。LSEG Risk Intelligenceのロゴマークは、LSEGおよびその関連会社の商標です。



LSEG RISK
INTELLIGENCE